

トップインタビュー

1995年1月3日

1994年1月3日

日本は他の先進主要国と比較して、高齢化が急速に

快適な老後を提

進んでいる。その中でも佐賀県は、他都道府県より十年は高齢化が進んでおり、

いますと、タイヘイの副島幸雄社長。介護する人、介護される人の苦痛と、その負担を少しでも軽減し、現在より未来へと、社会福祉に貢献することが企業コンセプトである。

明るい店内はショールームが設けられている。体が不自由な人でも楽に入浴できるように、細かく配慮された浴室、トイレなど。同じように設計を、と依頼されたこともあるという。

配達、設置からアフターまで、地域に密着したサービスを目指すタイヘイ。県下でただ一つの「シルバーマーク」適用の店として、今年も力強く歩きはじめる。

在宅看護に必要な車椅子などの介護用品がどこに売ってあるのかわからないという声を聞く。そんな声を受けてタイヘイM&Cは平成二年、在宅看護の手助けをする会社として設立され

た。三日月町の国道沿いにあるショールームは薬局と介護用品の展示場になっており、誰でも自由に見学できる。体の不自由な人でも入ることができるようリフト

トや手すりのついた浴槽のあるバスルーム、車椅子でも入れるトイレなどを展示し、実際に手に取り、確かめながら選べる店だ。展示通りの設計で設備を頼む人もいるという。

急速に高齢化が進む日本。その中でも佐賀県は他県より十年は高齢化が早いといわれ、医療福祉面からも深刻な問題を抱えている。この点から在宅看護にも大きな注目が集まってい

るが、タイヘイM&Cはいち早くこの現象に着眼し、

検討され、「ベッド、介護に伴う増改築の要望がますます増え、業界も競争が激しくなる」と今後の分析をする副島幸雄社長。業界で

生き残るためには常に情報を先取りする目と、若さあふれる行動力が必要。「今年には基本の部分に力を注ぎ、足腰の強い企業として飛躍を目指す」。副島社長は熱い意欲を語る。

基本に力を入れ飛躍を目指す

着実な伸びを見せている。平成九年に在宅介護に対する公的介護保険の導入が

るが、タイヘイM&Cはいち早くこの現象に着眼し、

生き残るためには常に情報を先取りする目と、若さあふれる行動力が必要。「今年には基本の部分に力を注ぎ、足腰の強い企業として飛躍を目指す」。副島社長は熱い意欲を語る。

「車椅子一つとっても、どこで売っているのかわからない人が多いのが現状です。本当に大切な商品だから、手にとってみたいのにそれができない。そんな皆さんの声を店づくりに生かして

株式会社大平

タイヘイM&C

代表取締役 副島幸雄

小城市津町津一五一―二四

電話 0952-0206

